

# 雲母（きらら）にゆうす

Vol. 14('06) March

発行 雲母倶楽部

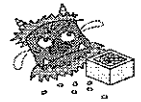
住所 仙台市泉区南光台 3-20-3

TEL 022-234-1711

## <はじめに>

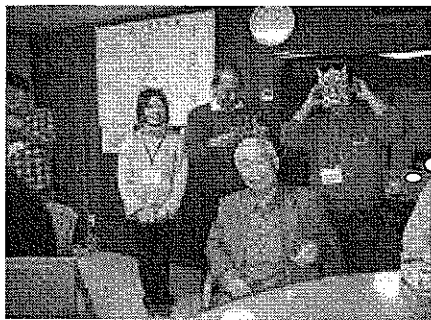
2006年になり早くも二ヶ月が過ぎました。雲母では日々利用者様や雲母のスタッフたちの生き生きとした声がきかれ、通行人の皆様にも楽しさが伝わりそうなくらいです。雲母関係者も読者の皆様も楽しく明るく健康に2006年も過ごせそうな予感がします。  
(クッキング班 石垣)

## きらら倶楽部に鬼隊参上!



去る2月の第2週、きらら倶楽部に鬼の集団が現れました!!利用者さんやスタッフの元気の良い「鬼は外!!」の声と共に豆がまかれ、鬼たちは一目散に退散していきました。この「鬼は外」というかけ声は、地方によっては「鬼は内」というところもあるそうで、「鬼は内」式のかけ声をかけている利用者さんもいらっしゃいました。私達も利用者さんからたくさんの事を学んだ節分行事となりました。

(メンテナンス・ケア班 中鉢)



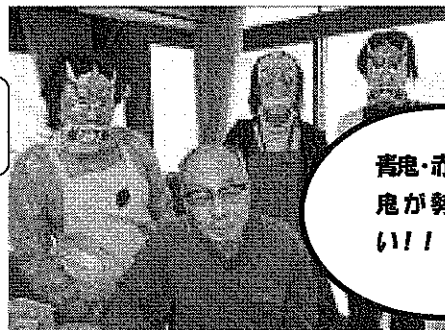
豆、何個食べようかな?  
(笑)



鬼は一匹だけか!  
もっといないかな!!  
鬼は外か



福は内!  
鬼につかまれる~



青鬼・赤鬼・緑鬼が勢ぞろい!!

## <さつまいものミルク煮>

“栄養たっぷり野菜の王様さつまいもの美味しい食べ方”

材料・・・4人分

さつまいも・・・500g      砂糖・・・大さじ1杯  
牛乳・・・500cc

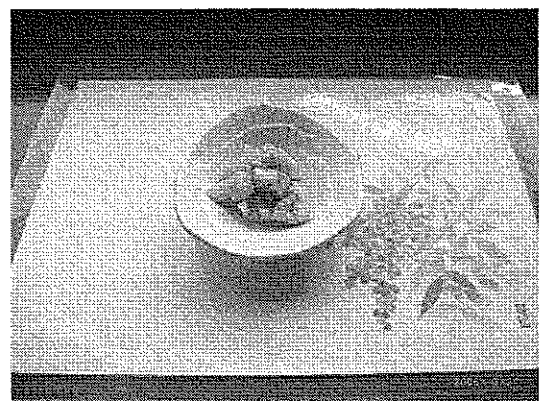
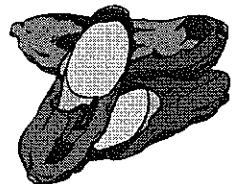
作り方

- ① さつまいもは皮をむき、1.5cm角に切る
- ② 水を入れたボウルに入れる。
- ② 鍋に②の水を切ったさつまいもと砂糖大さじ1杯牛乳500ccを入れる
- ③ 弱い火で15分煮る

ここだよ

I	I	I	I
強	中	弱	と
火	火	火	ろ
			火

◎ 芋は硬いので切る時、気をつけて下さいね



## <目指せ月間80【後篇】>

前号でお伝えしてから一ヶ月が経ちました。皆がこの一ヶ月間にそれぞれの努力を重ねて頑張りました。あれから雲母倶楽部はどうなったのでしょうか？

『目標達成出来たかな?』『惜しくもまた皆で更なる努力を重ねているかな?』などなど。憶測はいろいろありますよね。

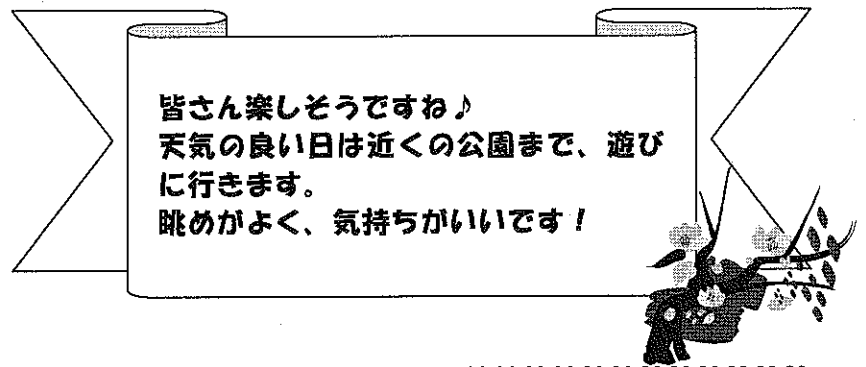
そこで!雲母倶楽部デイサービスが目標の『月間利用者延べ人数80人』を達成出来たのか!?を、盛大にお伝えします!皆様が気になる結果から発表します!

…結果は**目標達成です!** ありがとうございます☆^。( \*^。 )v

雲母倶楽部デイサービススタッフの日頃の努力と、それを温かく見守ってくださっている読者の皆様のお陰で無事に月間利用者延べ人数80人を達成することが出来ました!

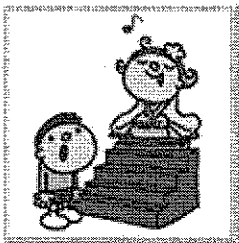
さらに、今回の目標達成で新たな目標が出来ました!題して『目指せ月間120!』です。皆様も雲母倶楽部の見守りを宜しくお願いします!

(クッキング班 石垣)



皆さん楽しそうですね!  
 天気の良い日は近くの公園まで、遊びに行きます。  
 眺めがよく、気持ちがいいです!

~~~~~編集後記~~~~~



節分豆撒きで皆さんはなんと発声しますか?

僕は『鬼は外!福は内!』です。

この発声、『鬼は内!福も内!』という地方もあるそうです。

土地土地によって違うなら変わっているのはどちらでしょう?

皆さんの『当たり前』家族や友達と話してみると

2つ目の真実があるかもしれませんね?

さて次号では、皆さんはお嫁に行けますか?仕舞い忘れていませんか?

桃の節句『ひなまつり』についてお送りします☆^。( ^▽。 \* )

(クッキング班 石垣)

## 『共に過ごす時空の中で』

### <「話す」ということ>

雲母倶楽部デイサービスが開所して1年半。1週間にたった1人の利用者さんからはじまり、ポツリポツリと増え今ではなんと1日に7人もの利用者さんをお迎えする日も少なくありません。メンバースタッフと一緒に仕事をしてきて一番難しいと感じたのが「話す」ということでした。朝、利用者さんが到着して挨拶をする。そこまでは良いが次の言葉が出てこない。利用者さんが目の前にいるのに長い時間沈黙が続くこともしばしば……。『自分より年上の相手に何を話したら良いのか・・・?』と悩む人もいた。少しでも会話が出来るようにと“毎日新聞を見てきて大きな見出しを5つ書き出してこよう”と働きかけ“利用者さんと話す前に職員と練習をする”“慣れない敬語を勉強する”それらを毎日繰り返して来ました。それでも、物怖じしてなかなか話せなかったり、利用者さんの話しに集中できなかったり、利用者さんのことより自分の気持ちが一番に出てしまうことも度々あります。朝のブリーフィング・帰りのケース会議はみんなの大事な反省・確認の場です。

はじめは、とても冷や冷やしてみていた接客も少しずつ慣れてきて上手に接客する姿も見られるようになりました。まだまだ不十分な所はあるけれど、利用者さんの笑顔があつてまた頑張れる毎日です。

(職員 松田)